

第6講座 古文

■要点のまとめ

◇古文の基礎知識

(1) 歴史的かなづかい

① 語頭以外の「は・ひ・ふ・へ・ほ」→「わ・い・う・え・お」

② 「ア段の音＋ウ」「イ段の音＋ウ」「エ段の音＋ウ」

↓「オ段＋ウ」「イ段＋ユウ」「イ段＋ヨウ」

③ 「ぢ・づ・む・くわ・ぐわ・ゐ・ゑ」

↓「じ・ず・ん・か・が・い・え」

(2) 古語

① 現代では使われていない言葉。

例 いと↓とても げに↓なるほど

② 現代とは意味が異なる言葉。

例 をかし↓趣がある うつくし↓かわいらしい

◇古文の読み方

(1) 省略されている助詞を補いながら読む。

古文では「が」「は」「を」などの助詞が省略されていることが多い

ので、助詞を補いながら読むようにする。

(2) 主語を押さえながら読む。

主語を表す助詞「が」「は」の省略や、主語を表す助詞「の」などに

注意して、だれの動作なのかを押さえながら読むようにする。

(3) 会話文に気をつける。

話し言葉の終わりは「〜と(いふ)」などという形になっていることが多いので、引用を表す「と」に着目して会話文をとらえる。

三字・四字熟語

(1) 次の——線部を漢字に書き直しなさい。

① 締切しめきりの期日をのばす。

② 青いかんばんが目印だ。

③ 彼はどきようがある。

④ じようぎで測る。

⑤ これはきちような石だ。

⑥ ほうがん紙を使って書く。

(2) 次の三字熟語と同じ組み立てのものをあとから選びなさい。

① 論説文

② 雪月花

③ 超一流

ア 初対面 イ 天地人

ウ 政治学

① () ② () ③ ()

(3) 次の二字熟語を組み合わせてできる四字熟語を四つ答えなさい。

公明 慎重 意味

無実 心機 無根

未聞 深長 有名

一転 正大 終始

() () () ()

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

豊前ぶぜんの国の住人、太郎入道たろうといふものありけり。^{*1}男なりける時、つねに猿さるを射けり。ある日山を過ぐるに、大猿ありければ、木に追ひのぼせて射たりけるほどに、あやまたずかせぎ*2に射てけり。すでに木より落ちんとしけるが、なにとやらん物を木のまたに置くやうにするを見れば、
[A]なりけり。おのが傷を負ひて土に落ちむとすれば、子猿を負ひたるを助けんとて、木のまたに据ゑすゑむとしけるなり。子猿は又また、母につき②て離れじとしけり。かくたびたびすれども、なほ子猿つきければ [B] 地に落ちにけり。^③それよりながく、猿を射ることをばとどめてけり。

（橘成季『古今著聞集』）

*1 男なりける時＝まだ出家していない時。

*2 かせぎ＝木のまた。

問一 線 a～c を現代かなづかいに直してすべてひらがなで書きなさい。

a [] b [] c []

問二 [A] にあてはまる言葉を文中から漢字二字で書き抜きなさい。

[]

問三 線①「助けん」とありますが、だれ（何）が助けようとしたのですか。最も適当なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア 太郎入道 イ 子猿
ウ 大猿 エ 作者

問四 線②「離れじとしけり」の現代語訳として最も適当なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 離れようとした

イ 離れまいとした

ウ 離れてじっとしていた

エ 離れてもすぐもどった

問五 [B] にあてはまる言葉として最も適当なものを次のうちから選

び、記号で答えなさい。

ア 大猿のみ

イ 子猿のみ

ウ もろともに

エ 我とともに

問六 線③「それよりながく、猿を射ることをばとどめてけり」と

ありますが、それはなぜだと考えられますか。最も適当なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 一度に二匹ひきもの猿を手に入れたので、当分の間狩かりをする必要がなくなったから。

イ 母猿と子猿の情愛に強く心をうたれ、今まで自分がしてきたことを反省したから。

ウ 子猿を助けることもできずに矢を受けて死んでしまった母猿の恨うらみみがこわかったから。

エ まもなく出家する身であつたのに、猿を助けられなかったことにひどく心を痛めたから。

オ 出家を志す身でありながら猿を殺してしまったことを人にとがめられたから。

ま、ともなふべき人もなく、たのむべき奴もなし。たとひ、ひろくつくれりとも、誰を宿し、誰をか据ゑん。

(鴨長明『方丈記』)

10

〔現代語訳〕

やどかりは小さな貝を好んでその中に住む。これは□を知っているからである。みさごは波の荒い岸壁に住んでいる。そのわけはつまり、人間を恐れるためである。自分もまた、このようなやどかりや、みさごと同様である。□を知り、世の中（のはかなさ）を知っているのに、何も願わず、あくせくしない。ただ静かなのを望みとし、心配のないことを楽しみとしている。だいたい、世間の人が住居を作るならわしでは、必ずしも□のために作っていない。ある時は、妻子や従者のために作り、ある時は、親しい人や仲のよい友のために作っている。またある時は、主君や師匠のため、それから財宝や牛馬のためにさえ家を作る。（しかし）私は、今、□のために作った。他人のために作ったのではない。（A）、今の世の中の習俗や、自分の境遇（を考えると）、いっしょに暮さなければならない家族もなく、頼りにできる召し使いもない。たとえ、広く作ったとしても、誰を泊め、（B）。

*1 みさご＝海辺に住む大型の鳥。

10

問一 線a～cを現代かなづかいに直し、ひらがなで書きなさい。

a
~~~~~  
b  
~~~~~  
c
~~~~~

問二 線①・②の「身」は、ともに同じ意味を表しています。その

意味として最も適当なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア とりえ。 イ 心の中。

ウ 身のほど。 エ 体の大きさ。

問三 線③「しづかなるを望みとし」は対句表現の一部を成してい

ます。これと対になっている部分を古文中から書き抜きなさい。

問四 線④・⑥の「身」は、ともに同じ意味を表しています。その

意味として最も適当なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 体の健康。 イ 本来の目的。

ウ 身より。 エ 自分自身。

問五 線⑤「これ」の指している内容を古文中から五字以内で書き

抜きなさい。

|  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|

問六 (A)にあてはまる現代語訳として最も適当なものを次のうち

から選び、記号で答えなさい。

ア なぜかというところ

イ 事情が思わしくないので

ウ 人に貸そうと思うのだが

エ ただ良くないと言ってしまえば

問七 (B)にあてはまる現代語訳として最も適当なものを次のうち

から選び、記号で答えなさい。

ア 誰を召し使いとして雇えばいいのだろう

イ 誰を拒絶するべきかわからない

ウ 誰かを家に呼びたいものだ

エ 誰を住まわせようか、そのような人はいない

問八 この文章に現代語で題をつけるとして最も適当なものを次のうち

から選び、記号で答えなさい。

ア 自分のための家 イ 生活の手本となる動物

ウ さまざまな家 エ 世の中の習俗